



# ソウル市における農家の農業経営事例



発表者紹介



カン・ハンソン

- (現) 農業指導者ソウル特別市連合会西部地区会長
- (現) 江西農協サムジ営農会会長
- (元) 農業指導者ソウル特別市連合会事務局長
- (元) 江西農協クァヘ稲作作物グループ代表

営農歴35年



I·SEOUL·U

01

農業の現況

02

ソウル市江西区における農業の現況

03

ソウルの農家の暮らしぶり大公開

04

韓国の農食品の消費トレンドの変化

05

今後の営農戦略





## 発表者の農業経営概要

## 稲作

- 耕作規模：100,000㎡
- 年間収穫量：米42トン／年
- 年間所得：3,426万ウォン（約319万円）
- 栽培管理：エコ34%（3.4ha）／一般慣行66%（67.6ha）
- ※エコ認証レベル：無農薬認証（1年単位で認証機関が検証）
- タニシ農法(除草)病虫害防除（航空共同防除年2回-市が支援）



ビニールハウス栽培

## いちじく栽培

- 規模：460株
- 面積：1,080㎡
- 年間所得：1,100万ウォン（約102万円）
- 販売方法：農協ローカルフード店舗

ビニールハウス栽培

## 果菜類

- 面積：1,620㎡
- 主要栽培作物：唐辛子、トマト、青唐辛子など
- 年間所得：1,850万ウォン（約172万円）
- 販売方法：週末農場顧客、農協ローカルフード店舗

## 週末農場運営

- 運営周期：1年単位（4月末オープン～12月中旬まで使用）
- 栽培面積：6,000㎡
- 運営規模：250区画（1区画16㎡）
- 年間所得：2,950万ウォン（約274万円）



## ソウル市江西区

## 農地および農家の現況

計	耕地面積(ha)		農家		1戸あたりの 耕地面積(ha)
	水田	畑	世帯数	人口(人)	
365	30	335	311	870	1.1

## 環境にやさしい稲の買取現況

年度	種類	買取面積	買取量	買取農家
2018	エコ	144,250m <sup>2</sup>	81,620kg	9戸
2019(予定)	エコ	162,130m <sup>2</sup>	97,270kg	7戸

ソウル市江西区





## ソウル市卸売市場の現況

## 2018年の取引実績

区分	物量(トン)		金額(100万ウォン)	
	年間	1日平均	年間	1日平均
計	3,070,489	10,066	5,822,860	19,091
可楽市場	2,437,089	7,990	4,704,293	15,424
江西市場	604,659	1,982	1,055,650	3,460
糧穀市場	28,741	94	63,217	207



## 所得現況

## 年間農業所得

※1,000万ウォン:約93万円

項目別	総収益	生産費	所得
総所得	16,270万ウォン	8,044万ウォン	8,226万ウォン
稲 (10ha)	11,200万ウォン -エコ認証稲の収益4,200万ウォン ・面積3.4ha、生産量(白米)14t ※24万ウォン/80kg - 一般慣行稲の収益7,000万ウォン ・面積6.6ha、生産量28t ※20万ウォン/80kg	7,774万ウォン -人件費559万ウォン ・計43名(田植え15人、苗代設置20人、草刈り8人) ※1人あたり人件費130,000ウォン/日 -農薬・肥料 705万ウォン -農機械運営(燃料、修理)550万ウォン -農機械レンタル(コンバイン)1,200万ウォン -農地賃借料3,200万ウォン -稲搗精手数料1,560万ウォン	3,426万ウォン
週末農場 (0.6ha)	1,870万ウォン -分譲料 1,750万ウォン -苗、種販売 120万ウォン	20万ウォン -立て札、農機具など 20万ウォン	1,850万ウォン
ビニールハウ (0.3ha)	3,200万ウォン -いちじく栽培1,200万ウォン -果菜類2,000万	250万ウォン -農資材など100万ウォン -農資材など150万ウォン	2,950万ウォン -1,100万ウォン -1,850万ウォン



## 販売タイプおよび補助金支援

## 主要生産物の販売タイプ

※1,00万ウォン:約9万円

## 販売タイプ

○稲:政府買取(60%)25,200kg+週末農場利用者などへ直接(40%)16,800kg

○ビニールハウス生産物:農協ローカルフード店舗70%+週末農場利用者などへの直接販売30%

## 年間の政府補助金支援

## 補助金

○有機質肥料 240万ウォン

○エコ農薬(穀象虫):50万ウォン

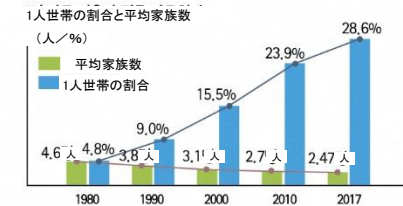




## 農食品の流通環境

### 1人世帯の割合と平均世帯人数

年度別	1980	1990	2000	2010	2017
平均世帯人数	4.6人	3.8人	3.1人	2.7人	2.47人
1人世帯の割合	4.8%	9.0%	15.5%	23.9%	28.6%



### 65歳以上の高齢人口の増加

年度別	1980	1990	2000	2010	2017
65歳以上の高齢人口	3.8%	5.0%	7.3%	11.3%	14.2%



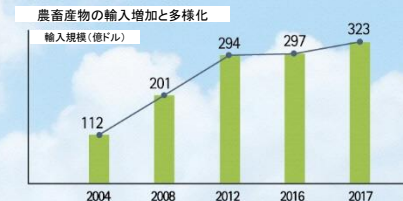
### モバイルショッピングの取引額推移

年度別	2015	2016	2017
全体規模(億ウォン)	248,570	345,446	478,360
飲料・食料品(億ウォン)	28,868	45,887	72,152
農畜産物(億ウォン)	6,564	9,537	13,249



### 農畜産物輸入増加と多様化

年度別	2004	2008	2012	2016	2017
輸入規模(億ドル)	112	201	294	297	323



\* 農畜産物輸入増加と多様化の原因: 所得水準の向上、FTA締結国の拡大



## 韓国の農食品の消費トレンド

### 便利さと簡便化

- 剥きにんにく、剥きキキョウ、剥きねぎなど：15～60%流通量が増加
- キムチ自家製率：（2015）56.2%→（2017）47.8%
- 1人あたりの果物消費量 柿、梨が減少、いちごなどが増加
- カットスイカの需要が増加、小さな果物の人気が増加-パプリカ、ミニトマト、カットスイカなど

### 少量化と小型包装

- りんごの重量別価格（2010→2017年）：大きな果実に比べ中小の果実が9～22%上昇、特大果実は12%下落
- 果物の包装単位別流通量 20kg→10kg→7.5kg→5kgなどと小型化
- 米の包装単位別流通量 80kg→40kg→20kg→10kg→5kg→3kg

### 消費品目の多様化

- （過去）米が主食→（現在）パン、餅、麺など
- サムチェ類（サンチュ、白菜、えごまの葉）→巻き野菜盛り合わせ

### 健康追求と安全志向

- 健康関連トレンドキーワード調査（韓国農村経済研究院）：地方、ダイエット、健康食品、サラダ、トマト、菜食主義、GAP認証、GMO、HACCP、無添加、無農薬など

### 価格に対する性能と 価格に対する心理的満足

- 価格に対する性能、購入に対する心理的満足
- ⇒より大きな心理的満足が得られるなら価格に対する抵抗が著しく下がる減少
- 形の悪い果物の購入が増加⇒環境にやさしい農産物、実用型 ※形は悪くても安い、美味しい、健康にいい

### 価値消費と倫理的消費

- 社会的分配、環境、公正さ、価値観、食品会社の倫理レベル
- 有機農、ローカルフード、直接取引、フェアトレード、炭素マイレージ、善良な飲食店、生命倫理、動物福祉など

### 農食品購入時の重視度

- 「果物を選ぶときに重視すること」についての農民新聞のアンケート（2017.7：1005人）  
：新鮮度40.9%、糖度39.9%、価格10.9%、原産地3.2%

イ・ジョンソン(2019.1)「お金が見える農食品消費トレンド」農民新聞社

## 営農戦略

施設栽培面積の拡大

新鮮度品目へ品目多様化(5~7種)

消費者直販拡大方法の模索

週末農場拡大、体験学習場運営など

農機械レンタルおよびメンテナンス費削減方法の模索

農協統合管理



Thank you

